

第1回初心者水中ウォーキング シェイプアップ講習会

今年度から毎月1回行います。初心者を対象に、水の特性、歩き方の種類や方法を教えます。水中で筋力トレーニングも行います。

日時 4月27日(木)午後3時～3時50分

会場 スイミングセンター

対象 16歳以上の方

定員 30人(先着順)

参加費 市内在住・在勤の方：400円
／市外の方：600円

内容 実技50分

指導 NPO法人羽村市体育協会ス

ポーツトレーナー

持ち物 水着・帽子・タオルなど

申込み・問合せ 当日の午後2時から

2時50分までにスイミングセンター

1階受付 ☎ 579-13210

第1回羽村市総合型地域スポーツ クラブ勉強会

体育指導委員協議会では、市民が手軽にスポーツ活動を自由に楽しめ、自らが主体的に運営する「総合型地域スポーツクラブ」について研究を重ねてきました。地域特性を生かしたさまざまな活動などを楽しく新しいタイプのクラブです。

日時 4月23日(日)午前10時～正午
会場 スポーツセンター会議室

内容 総合型地域スポーツクラブとは／発表ビデオの上映／意見交換／今後の予定

主催 羽村市体育指導委員協議会
問合せ スポーツセンター ☎ 555-10033

初心者弓道教室

日時 5月10日(水)～31日(水)の毎週
水・土曜日午後7時～9時

会場 羽村市弓道場

対象 高校生以上

定員 20人(先着順)

服装 運動ができる服装(上着は長袖でボタンのないもの)、靴下または足袋

参加費 3000円

主催 羽村市弓道会

申込み・問合せ 4月30日(日)までに、住

所・氏名・年齢・郵便番号を記入してはがきまたはファクスで羽村市弓道場へ〒205-10001羽村市小

作台4-2-8 ☎ 555-1925
5 FAX 555-19255

募集



「羽村市都市計画マスタープラン」策定に伴う審議会委員の募集

現行の羽村市都市マスタープランは、時代の変化に即した見直しを行うことから、さまざまな方の意見を取り入れるため、市民や学識経験者などで構成する「羽村市都市計画マスタープラン審議会」を設置します。次のとおり市民の皆さんから委員を募集します。

募集人員 3人

応募資格 市内在住で市内在勤または在学の18歳以上の方

※他の委員会や懇談会などで活動中の方は、応募をご遠慮ください。

開催期間 平成18年7月～平成20年3月の間(6回程度開催予定)

報酬 「羽村市特別職の職員で非常勤のもの」の報酬および費用弁償に関する条例に基づきます(9000円/回)。

応募方法 5月2日(火)までに、「地域特色を活かしたまちづくり」について800

字以上1200字以内にとり、郵送または直接都市計画課へ。住所・氏名・年齢・性別・電話番号を記入してください。

応募先 〒205-18601(住所記載不用) 羽村市都市整備部都市計画課

選考方法 作文の内容を参考に選考します。

※選考結果は、本人に直接通知します。

※選考後、ご応募いただいた作文は返却しません。

問合せ 都市計画課都市計画係

その他



平成17年度行政評価の結果

市では、平成14年度から、行政評価(事務事業評価)を導入しています。この事務事業評価は、市の個々の事務事業について、必要性、効率性、有効性、緊急性などの観点から、各事務事業の成果を分析・検証し、事務事業の見直しや予算編成などに反映させていくものです。また、結果を公表することで、行政の説明責任を果たすとともに、成果重視の市政運営への転換、透明性および行政サービスの向上などを図ることを目的としています。

■平成17年度評価対象事務事業数
新規事務事業の評価：40件／既存事務事業の評価：53件

■評価結果の内訳
新規事務事業の評価 実施：25件／要求額の減額 事業内容の変更：8件／次年度持ち越し：5件／実施しない：2件

既存事務事業の評価 推進(現行どおり実施)：30件／着実実施(改善した上で実施)：22件／実施再検討(抜本的見直し)：1件

※詳しくは、市役所市政情報コーナー、企画課、図書館、市ホームページでご覧いただけます。

問合せ 企画課企画担当

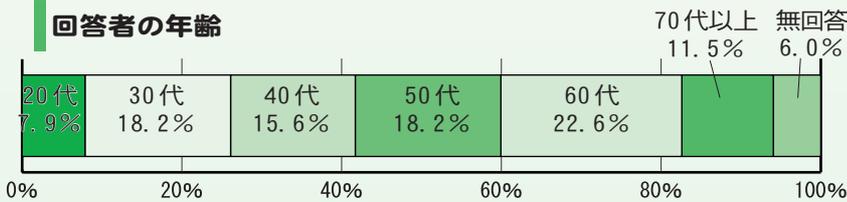
平成17年度 情報化に関する 市民アンケート集計結果

平成17年6月に、情報化に関する現状を把握し、今後の市政運営に反映させることを目的に市民アンケートを実施しました。その結果(概要)をお知らせします。

アンケートの概要

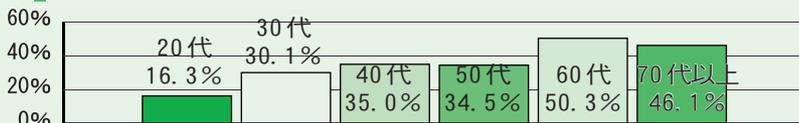
■ 対象	20歳以上、世帯内重複不可、平成17年6月1日現在の住民基本台帳登録者 2000人
■ 抽出方法	無作為抽出
■ 調査方法	郵送により送付、郵送により返送
■ 調査期間	平成17年6月6日～24日
■ 有効回答数(率)	724件(36.2%)
問合せ	情報システム課情報化推進係

回答者の年齢



送付数に対する回答割合(年代別)

※無回答を除く681件に対する割合



送付数に対する回答割合(年代別)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答
送付	349	439	323	383	326	180	—
回答	57	132	113	132	164	83	43
割合	16.3%	30.1%	35.0%	34.5%	50.3%	46.1%	—

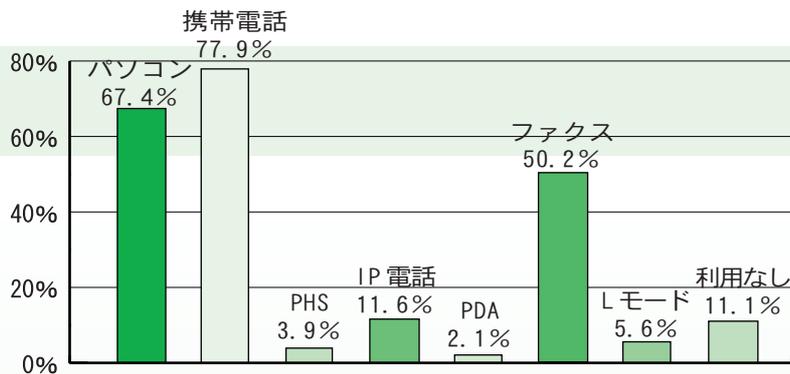
回答者の属性

有効回答数724件を年代別にみると、60歳代の方が最も多く、20歳代の方が最も少ない結果となりました。送付数に対する回答の割合を年代別の構成で見ても、同様の傾向が見られます。

情報機器の普及状況

情報機器の普及状況（複数回答あり）

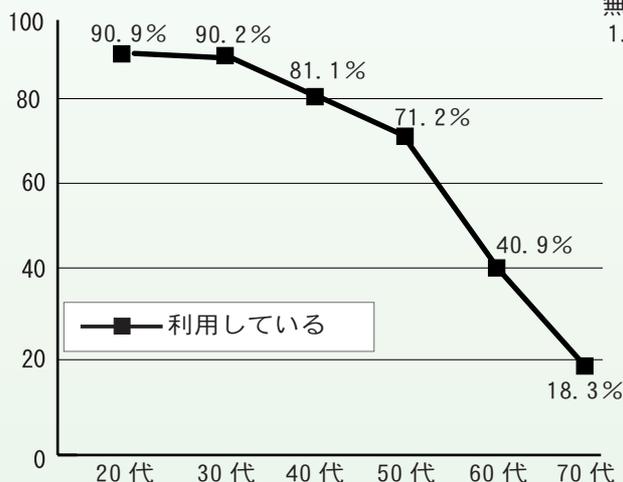
※無回答を除く 715 件に対する割合



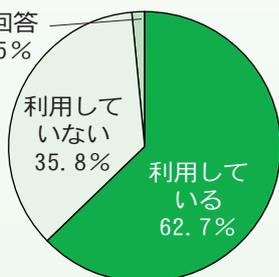
所有している情報機器は、携帯電話（1位 77.9%）、パソコン（2位 67.4%）、ファクス（3位 50.2%）が主なものでした。

インターネットの利用率

インターネットの利用率



インターネットの利用率

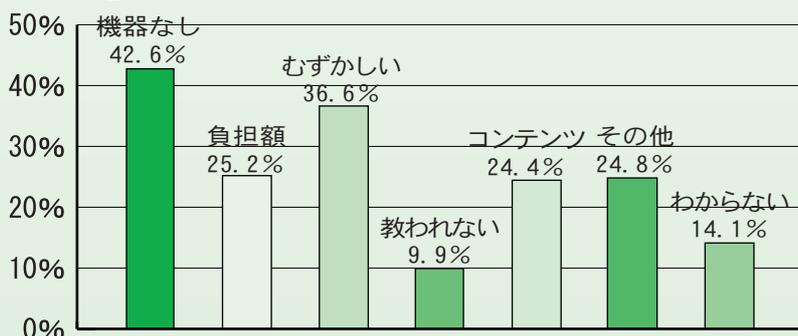


インターネットの利用者は、回答者全体の 62.7% でした。これは、平成 17 年 5 月に総務省が発表した、平成 16 年度「通信利用動向調査」の結果にあるインターネットの人口普及率 62.3% に近い数値です。利用者年代別に分類すると、20〜70 歳代にかけて次第に利用率が落ちていくことがわかります。

インターネットを利用しない理由

インターネットを利用しない理由（複数回答あり）

※無回答を除く 262 件に対する割合



インターネットを利用しない理由は、機器がないという環境面の問題が一番多く、次いで「むずかしい」や「負担額」が多いという結果になりました。

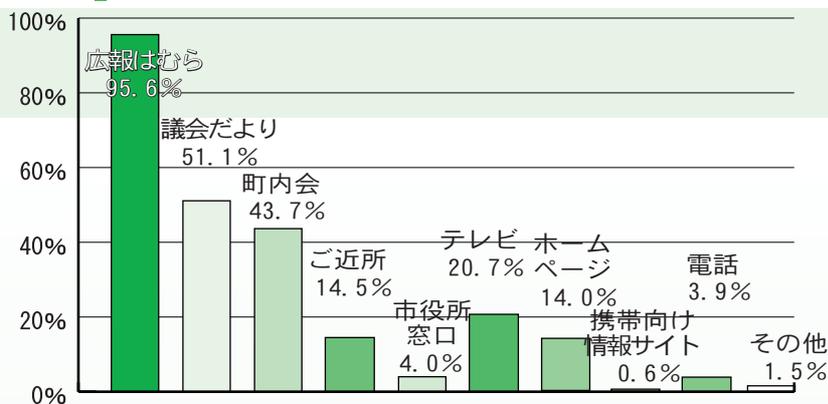
行政情報の入手方法

行政情報の入手は、月2回発行の広報紙「広報はむら」から最も多く、次いで「議会だより」、町内会・自治会の回覧からが多いという結果となりました。

市のホームページや携帯電話用情報サイトの利用は、合計でも15%に満たない結果となりました。

行政情報の入手方法（複数回答あり）

※無回答を除く 715 件に対する割合



ホームページで充実してほしい情報

ホームページで充実してほしいものでは、各種手続きに関する情報、福祉・保健に関する情報、観光・イベント情報という意見が多くありました。

ホームページで充実してほしいもの（複数回答あり）



インターネットでできることを望むもの

インターネットでできたら便利だと思われるものについては、公共施設の利用予約、申請や届出などの手続き、住民票などの証明書の交付、電子投票を望む意見が多い結果となりました。

インターネットでできることを望むもの（複数回答あり）

